

議会だより さかき

# Tomorrow

No. 113

平成20年7月31日

## 主な内容

- 条例および補正予算を承認…… 2P
- ここが聞きたい一般質問12名 …… 4P
- 議会報告会 65名の声から…… 12P



# 一問一答方式に

平成20年第2回定例会は6月11日に開会され、町長の専決処分事項の報告、条例の改正、一般会計および特別会計補正予算等が提案され、いずれも原案どおり可決し、25日閉会した。一般質問には、12名が登壇した。

## 専決処分

### ◇補正予算

次の補正予算は19年度最終補正として、3月31日に専決した。

議会は、すべて賛成多数で承認した。

◎一般会計補正予算(第10号)は、3千477万1千円を減額し、総額64億1千532万6千円となった。

◎国民健康保険特別会計補正予算(第5号)は、1千68万8千円を追加し、総額16億5千175万2千円となった。

◎老人保健特別会計補正予算(第4号)は、6千296万6千円を減額し、総額17億3千716万円となった。

◎下水道事業特別会計補正予算(第5号)は、2千289万1千円を減額し、総額7億7千892万2千円となった。

◎介護保険特別会計補正予算(第4号)は、1千193万8千円を減額し、総額9億4千396万2千円となった。

### ◇条例

次の条例は4月30日に専決した。

◎坂城町税条例の一部を改正する条例について

(賛成多数承認)

地方税法等の一部改正に伴い、町民税関係は、①控除対象寄附金の拡大をし、現行の所得控除方式から税額控除方式に改め、適用対象寄附金に係る控除率を6%、控除対象限度額を総所得金額等の30%、適用下限

額を5千円②地方公共団体に対する寄附金税制の見直し③公的年金からの特別徴収制度を創設し、21年10月支給分から実施④上場株式等の配当課税、上場株式等の譲渡益課税の見直し等を行うものである。

固定資産税関係は、省エネ改修工事を行った既存住宅に係る固定資産税の減額措置を創設する。

国民健康保険税は①基礎課税額の課税限度額を47万円②後期高齢者支援金等課税額の限度額を12万円③国民健康保険から後期高齢者医療制度に移行する場合、軽減を受けている世帯について、世帯の国民健康保険の被保険者が減少しても、5年間従前と同様の軽減措置を受けることができるなどが主な内容である。

問 後期高齢者医療制度に移行され、世帯の被保険者が減少したとき、また単身世帯に対しては5年間の軽減措置があるのか。

答 6割4割の軽減を受けていた世帯については、世帯の構成や収入が変わらなければ5年間今までと同じ。単身世帯になった場合、つまり特定世帯についても



伝統をつなぐ金井のお獅子

# 一般質問は



自分たちで庭をきれいに (はにしな寮のみなさん)

平等割が5年間半額、6割4割軽減もある。  
問 介護保険、後期高齢者医療保険料に加え、町民税個人分が天引きされるが。  
答 19年中の年金収入者で課税となる者は、約1千350人である。

## 条例

◎坂城町手数料条例の一部を改正する条例について  
(賛成多数承認)

◎公益法人等への職員の派遣に関する条例の一部を改正する条例について  
(全員賛成可決)

◎坂城町福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例について  
(全員賛成可決)

## 財産処分

◎町有財産の処分について  
(全員賛成可決)  
地域の安全・安心を確保するため、町が18年に取得

したチクマ精工(株)跡地について、景観や環境面の改善が完了したので町土地開発公社に売却し、新たな工業用地に再生を図るものである。面積は13筆、約8千㎡。売却価格は約2千6万円。

## 補正予算

2千844万円を計上

問 町税前納報奨金がここで補正される理由は。

答 固定資産税の国配分が

地方税法上の特例がはずれて、税額が約1億円増額前納された。

問 給与費関係(給与・職員手当・共済費)の補正項目が6割以上と多いが。

①補正の理由は。

②管理職手当が173万円余増額している。昨年度に課を統廃合し、管理職は減るのが一般的であるが増えている。理由と内容は。

③共済費が661万円余増えている理由は。

答 ①4月の人事異動に伴う調整であり、その都度補正を行っている。

②一般会計の管理職を、30名から35名に増やした。理由は、団塊の世代が定年退職期にあり、23年度末までに18名の管理職が退職する。支障がないように経験させるためと、組織の一部改正で5名増やした。

③4月からの国民健康保険税の改正と、後期高齢者医療制度の支援金および共済負担金である。

問 商工業振興補助金350万1千円補正された内容は。

答 商工業振興条例のなかで、機械設備等をされた企業については、固定資産相当分を1年間補助する制度である。今年度は現状のなかで31件となり、当初予算に加え1千350万1千円を計上した。

問 学校支援地域本部事業の地域コーディネーター等謝礼の内容は。

答 文部科学省の委託事業で3年間の計画。地域教育協議会を設置し、その下の学校支援地域本部コーディネーターの謝金である。

※『専決処分』『補正予算』のミニ用語解説はP10にあります。

# ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)



センター設置 待たれる

問 厚生連篠ノ井病院は救命救急センターの設置を強く望んでいる。県内には中南信に5カ所あり、東北信には長野赤十字と佐久総合病院だけで千曲、坂城、上田地区は空白地帯である。当病院は県で3番目に多い救急車搬送を受け入れ実績を持ち、医師や条件も備わっているが、県から評価されない。当町は空白地帯の自治体であり影響は大き

いものがある。設置に強く支援すべきであるが。町長 この病院は発足当時から救急医療に力を入れ、安全・安心な医療を提供し他にはない高度医療をめざしている。救命救急センターの指定条件を満たしているという。指定について近隣市町村への支援アクションが起された場合には、より積極的に対応する。

問 国内で年間10万人が亡くなり、死因の中でも肺炎球菌による死亡が最も多いとされ、その予防効果にワクチン接種が有効だという。肺炎球菌による感染症の約80%を予防でき、その効果は1回の接種で5年間持続するという。接種の普及と助成により、多くの高齢者の命を守れないか。塚田福祉健康課長 助成については肺炎の治療などの費用対効果、ワクチンの有効性、安全性などの確認が必要である。国・県の施策の動向を見るなかで検討し対応していきたい。



柳沢昌雄

積極的に対応する

## 救命救急センター設置を

肺炎ワクチン接種助成を

柳沢昌雄 議員 4 P

①地域医療体制の充実について

柳澤 澄 議員 5 P

①食育について  
②各種審議会・委員会・懇談会等について  
③入院中に75歳となる者の医療費について

田中邦義 議員 5 P

①製造業の活性化対策について  
②小中学生の携帯電話の所持・活用の実態と対策について  
③住民主体のまちづくりの促進を

宮島祐夫 議員 6 P

①財政健全化の取り組みについて

入日時子 議員 6 P

①野外スポーツ施設のトイレについて  
②小学校の耐震化について  
③食育について

大森茂彦 議員 7 P

①町内企業の雇用形態について  
②町の機構改革について  
③子どもの食育について

安島ふみ子 議員 7 P

①「パートナーシップさかき21」について  
②葛尾組合について

春日武 議員 8 P

①創造学園大学薬学部について(その2)  
②役場内外の危機管理について

林春江 議員 8 P

①町の道路施策について  
②ばらサミット開催まであと1年

円尾美津子 議員 9 P

①産業道路の改良について  
②農業施策に重点を  
③後期高齢者医療制度について

山城賢一 議員 9 P

①環境行政について  
②土地開発公社について  
③老人クラブ活動について

中嶋登 議員 10 P

①工場用地について  
②地域防災について  
③防災無線について

# 食の総合的センターを

保健センター中心に



柳澤 澄

問 食の安全、生産者と消費者の交流、古くからの食文化、朝食抜きの子どもをなくす等総合的に機能する場所が必要だ。戦前から終戦直後の食事や、町内で開発された新しい食品がならび、地産地消の相談や料理し合い伝える室も、そんな食に関わる総合的な場所がほしい。

各種審議会、形だけか

問 たくさんの審議会、委員会等がある。多くは町長の諮問機能的性格のものだが、形式的との声もある。

審議会等で提案された内容が修正されたことがあるか。また、委員に当て職や町の管理職で構成されているものもあるが、見直す時代だ。会議当日資料が提出され、十分理解できない場合が多い。

中村総務課長 総合計画審議会、指名業者等選定委員会他いくつも修正された。

委員はほとんど当て職の時

もあった。指摘は生かして

いきたい。資料提示は極力

早目に努めたい。



親子でつくるよもぎ団子（南条小2年生）

# 小中学校の携帯の実態は

自分の携帯 中学校29%



田中 邦義

問 国民一人に1台と普及した携帯電話であるが、掲示板や非公式サイトなどを介した反社会的な行為や、事件が日常化しているが、町内の小中学校における所持の実態と「いじめ」などの防止対策の取り組みは。教育長 町内の小中学生で自分の携帯電話を持っているのは63人7.2%中学生は133人29%である。また、これらによる「いじめ」などの実態は把握していない。

「いじめ」の問題は各校とも苦慮しており、防止対策として生徒児童の人間関係を観察することに留意している。「いじめ」が不当であることを見抜ける心、防止する心の持ち方をどう育成するかが課題である。保護者との連携が大事なので、PTAを中心に防止に努め、町青少年を育む町民会議など多くの町民の取り組みを期待している。

町独自の申請受注対策を

問 原油や諸原材料など国際価格の高騰や、グローバル化で、下請中小企業の受注、経営環境が厳しさを増している。町独自の受注開拓など取り組みべきでは。宮崎産業振興課長 テクノハートさかき協が中心に、共同受注に取り組み、町も支援している。町出展者協会や県などと連携して下請対策の活性化を図る。

問 住民主体のまちづくりへの実践が地域の課題である。住民の意思が実る風土づくりを提案する。



人気高い 鼠マレットゴルフ場

## 財政健全化の取り組みは

### 早期健全化基準を設ける

宮島 祐夫



問 財政健全化の指標公表は19年度決算から、また、財政健全化計画の策定の義務付け等は、20年度決算から適用される。

町長 地方公共団体の財政運営の状況を、単に各会計の決算情報だけでなく、関係団体を含めて将来的な負担を、よりわかりやすい内容で情報公開する。

議会の住民とともに財政の健全化を進める仕組みについて、19年度決算から実施する。

問 対象会計の範囲の比率や財政早期健全化について再生基準の内容は。

町長 この財政健全化法の特長は、イエローカードとして「早期健全化基準」を設けたこと。

普通会計の赤字のみに着目するのではなく、下水道会計など、公営企業会計を連結させた収支額や一部事務組合も含めた公債費負担額、さらに土地開発公社などの関連団体に対する将来的な負担等を考慮し、多角的な視点から財政状況を捉えるものである。

問 三位一体改革による自治体財政の疲弊で、指標に対する町の財政状況と今後の展望については。

町長 昨今の地方分権の進展に伴い、これまで以上に責任ある行財政運営が求められるっており、同時に外部へのわかりやすい情報の開示が必要不可欠である。

情報公開と説明責任といった観点から、財政の健全化・透明化に努める。

## 運動公園にトイレを

### 簡易トイレを設置する

入日 時子



問 上五明運動公園や鼠マレットゴルフ場のトイレは陳情にもあるように、子供や女性の利用が困難な状況だ。両運動施設は町外からも大勢の人が利用する。トイレが汚いと、町のイメージダウンにもなる。

上五明の運動公園は河川敷ではなく、土手の左手に国交省の土地があるので、簡易トイレではなく、バラ公園のトイレのような水洗トイレを設置できないか。

鼠マレットゴルフ場は河川敷なので、簡易水洗トイレの早期設置を。

西沢教育文化課長 上五明の公園については河川敷に簡易水洗トイレを1基設置する方向で検討している。

土手の西側の土地はバラ公園に予定しているので、用途変更は難しい。

鼠マレットゴルフ場は昨年1基トイレを新しくしたので、簡易水洗については今後検討していく。

### 小学校の耐震化について

問 坂城小南校舎の耐震診断が今年度、村上小校舎は21年度の診断予定で改修までに3、4年もかかる。

国も耐震診断の補助を1/2から3/5に引き上げるといつている。町長も耐震診断を早急に進めたいと答弁している。文教施設基金が1億円、財政調整基金が13億円ある。取りくずして、耐震化を早く進められないか。

町長 第4次長期計画を少しでも早く進められるよう努力する。

# 町内企業の雇用形態は

非正規雇用は13・9%



大森 茂彦

問 全国の非正規雇用が働く人の33・4%、3人に一人になっているという。

町内企業の雇用状況は、外国人労働者も含め、どうなっているか。

町長 20年度の外国人は413世帯585人、うち就労者は280人。労働条件は、単純労働と非正規雇用がほとんどと推測される。今後、国・県の指導のもとに、町内企業の外国人労働者の受け入れとその雇用の安定と福祉の充実等を図られるよう促進していく。

宮崎産業振興課長 町内の雇用は、18年10月1日現在284社の雇用者数は5千212人、常用雇用が5千77人、うち正職員は4千488人、臨時雇用一カ月以内（パート・アルバイト）

724人である。非正規雇用の占める割合は13・9%である。企業の実態調査については、県の調査のデータが共有できるか研究していく。

問 町は地域経済と雇用を考えるならば、企業に対し良質な雇用に要請するためにも、調査をすべきだが。

町長 国・県の調査を解析し、町独自でどんな調査が必要か、別途検討する。

## 非正規雇用の待遇改善を

問 町職員の常勤的非常勤職員の待遇改善を。

中村総務課長 一般職員において、給与額は数年来上がっていない。近隣の状況を見て、大きく差があれば対応していく。

# 男女共同参画の進捗は

県平均値同等かそれ以上



安島 ふみ子



ママと一緒に子育て教室（男女共同みんなの会主催）

問 13年に策定された坂城町男女共同参画基本計画「パートナリシップさかさき21」の目標の達成は。

町長 民の力、女性を主体とする「男女共同みんなの会」をたち上げ、これを中心に連携しながら推進している。

片桐企画政策課長 町における公的分野の女性の割合は、県平均と同等またはそれ以上である。

上平・中之条区では区の規約の中に女性役員の選出

を規定している。

町内企業でポジティブアクションに取り組んでいる所は1社で、予定している企業は5社である。

問 男女共同参画の取り組みを積極的に実践する自治区・団体などを町が表彰する事業はできないか。

町長 文化の日に様々な表彰を行っている。検討する。

## 焼却炉の耐久年数は

問 長野広域連合長の2月議会でのあいさつの中で、26年稼働の焼却施設の計画が難しく延長の方向だとあった。葛尾組合の焼却炉の耐久年数はどのくらいか。毎年の経費と起債残額は。

副町長 耐久年数は15年で8年経過した。起債は19年度末で6億8千万円。22年に完済する見込みである。

メンテナンス等経費は毎年1億円かかる。

問 広域連合主体では、責任の所在があいまいでは。

町長 葛尾組合の焼却能力は、もう少しあるが千曲市に早期実現を要請していく。

# 創造学園大学薬学部の 可能性はあるのか

工業用地に有効活用

春日 武



いところでもある。諸般の事情をふまえ、遠くはない時期での決断も当然すべきと思うが。

町長 5月28日、学長にお会いしたが、文部科学省と厚生労働省の事前審査に向けての準備が整い兼ねている。全国的に学生が減少し国の助成制度も変わってきている。いましばらく時間がかかるとの指摘をいただいた。

町の状況も2年前とは大きく変わり、工業の町としての工業団地の充足が課題だが、ここにきていくつかの有力企業から用地拡張のための具体的な要望があり急を要するものもある。ある時期までに用地の確保ができないと、町外へ移らざるを得ないという会社もあるとのことである。

誘致するにはクリアな課題はならない問題がいくつもあつたし、それには大きな覚悟も必要になる。

用地は優良企業の活躍した場で工業団地として期待される立地条件の実によ

用地として少しでも早く有効活用すべきだと判断し、過日、その旨を学長にお話しして了解をいただいた。町の現状を考へる時、こうした判断に基づいて進むことが何よりと決断した。



にぎわいのばら祭り

## 一般財源化、町への影響は

必要なものは引続き整備



林 春江

町長 21年度から道路特定財源の一般財源化が閣議決定した。来年度以降、財源に影響が出るのが想定されるが、今後の考えは。

町長 地方、特に町村における道路整備は、地域の活

性化や住民生活の利便性、安全・安心を確保するためのもも基本的なインフラ整備であり、必要なものは引き続き整備していかなければならぬと考えている。

町長は、特定財源分を

防災・耐震化および公共交通対策の分野に使う考えを示しているがその根拠は。町長 防災・耐震化では大規模な地震発生に備え、町の3小学校の耐震改修作業を優先的に進めていく。公共交通対策では、高齢化社会の進行で住民の足の確保が一層重要になる。これらを充実させることは特定財源課税の原点から妥当であると考えている。

町長 都市計画道路が策定以降30数年経過するが、整備状況と見直しへの考えは。村田建設課長 13路線、約2万8千800mのうち整備済みは約20%である。見直しは全国的な課題となつていくが長期計画に沿つて進めていく。

一年切ったばらサミット

町長 開催まで一年を切ったが駐車場等の課題は。

町長 駐車場拡幅は千曲川河川事務所と協議していく。会場が千曲川の一角で限られていくが各地域のばらまちづくり感謝している。

# 若草橋南の歩道確保を



暫定的な手法も考慮して

円尾 美津子

## 地産地消推進計画を

問 世界的な食料不足が課題になっている。日本の食料自給率は39%、穀物自給率はたったの27%である。

これらの克服が待たないだ。町の農業全体から検討し、地産地消推進計画を立てることが必要では。宮崎産業振興課長 全体的な計画も必要だが、実態を積み上げ現場の状況を踏まえてもう少し検討したい。問 荒廃農地が増えている。解消に大豆・麦・蕎麦などの奨励金制度が成果をあげている。制度の創設を。産業振興課長 長野市の例を参考に研究したい。

# 温暖化対策の推進を



長期計画策定のなかで

山城 賢一

## 公社保有地の状況は

問 保有地の活用は。

を推進する基本方針を考え長期計画策定のなかで論議し、具体的な行動をと考えている。宮下住民環境課長 家庭で一人ひとりができるエコ対策、CO<sub>2</sub>削減の取り組みについて、いろいろの機会を捉え積極的に啓発していく。

町長 A01・A04号線および坂都1号線、18号バイパスと坂城インター線を結ぶ坂都5号線用地、駅周辺活性化事業用地ならびに中之条の福祉文化施設用地等である。インター先線等は政策決定されているが、国・県が遅れている。利用できる確信を持っている。

片桐企画政策課長 20年度に駅周辺活性化事業用地、福祉文化事業用地、食育・給食センター用地は、一般会計に予算化される。問 老人クラブ活動の支援について考えは。

塚田福祉健康課長 ハードソフト両面で支援していく。

また、南に向けてわずかの間、歩道が確保されていない。狭いところでは白線を含めても25cmしかなく、その上段差がある。そこが通学路でもあり、高齢者が気を使いながら歩いている。最優先での改良を求めるが。村田建設課長 橋の架け替えには莫大な予算が必要であり、実施計画には時間がかかり公表にいたらない。町長 歩道のない間はおよそ700mであり、財源は厳しいが、暫定的な手法を模索して対応したい。



特産ぶどうをになうアグリサポーター

問 温暖化対策の推進について、町の考えは。町長 町内企業では、ソーラー発電やエネルギー循環システムの導入で、高い評価を受けている。4月現在ISO14001取得企業11社、エコアクション21取得企業1社である。学校では各学年レベルにより、CO<sub>2</sub>削減を考えるエコ授業を行っている。環境からの恩恵は、町民が等しく享受するものであり、地球規模の課題でもある。温暖化対策等

# 新工業団地造成を



常に2ヘクトールは確保したい

中嶋 登

問 平成2年、町内大手の電機メーカーが、工業用地が確保できず、止むなく上田市へ移転し、その後上場企業へと発展した。

町は、この件を教訓として金井・中之条工業団地を造成し、町内企業に慰留をしたり、誘致をし、その後さかきテクノ工業団地として、今に至っている。最近では、坂城インター工業団地など、一定の成果は表れているが、今後工業団地の造成は、考えているのか。

町長 オリンパス跡地、チクマ精工跡地など、工業用地として活用する。長期的視野に立って、考えれば多くの投資をしてあるテクノ工業団地を集積して、第1候補としたい。用地は常に2haは確保したい。

## 自主防災を全町に

問 全国的に、消防団員が集まらない時代となり、坂城町でも、各分団共に、深刻な問題になっている。

そんな折、中之条区では区長の発案で去る6月1日自主防災会（火の見会）を発足させた。

消防団OBが中心となり後方部隊として、災害時の消防団活動に協力をし、区民の安全・安心を守る会である。全町に、自主防災会を広げては。

町長 町地域防災計画により、各区長を中心とした組織はあり、お願いしている。先導的な中之条の防災会に心より期待する。



雨の中のポンプ操法大会

## ミニ用語解説

### 『専決処分』とは

条例や予算を定めたり、決算の認定など、本来議会が議決・決定する議会の権限事項について、「議会が成立しないときや、特に緊急を要するため、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかなる場合」などにおいて、町長が議会に代わって自ら意思決定すること。

専決処分をした場合は、次の議会で報告し、承認を求めなければならない。

### 『補正予算』とは

町の予算は、1年間の行政サービスや事業等を歳出額にそのための財源内訳を歳入額として、歳入歳出予算を年度前に編成することが原則。

しかし、予期できなかった災害発生や制度の改正、国・県の補助金や交付金等の確定、公務員給与の改定、経済変動などにより、当初予算に追加したり、変更する必要が生じた場合に編成する予算のこと。

## 補正予算に賛成×反対

20年度一般会計補正予算に次の議員がそれぞれ討論をした。

賛成

安島 ふみ子

反対

田中 邦義

## エコ対策 先進地に学ぶ

総務産業常任委員会

5月7日(水) 環境行政の先進地、飯田市への視察研修を行った。

同市は市民、NPO、企業、行政等で環境協議会を作り、市民レベルの環境活動、行政への提言、環境政策の推進をしている。  
エネルギーの地産地消をめぐし、ソーラー(太陽光発電)やペレットストーブ導入には補助金制度がある。2010年までにCO<sub>2</sub>の排出量を1990年対比10%の

削減目標を立て、06年に4%まで削減した。

ソーラーの普及率は、07年84.7件2.25%で、市内いたる所で屋根にソーラーが設置されていた。市民出資の『おひさまファン』で保育園や公民館等へソーラーを設置し、売電利益を出資者に還元する。市では予算なしで設置できるシステムになっている。  
消エネのため取り組む企業や商店も増えている。

視察した保育園にはソーラー、ペレットボイラーによる床暖房、雨水の利用、生ゴミ処理機まで備えたエコ満点の施設だった。

(入日時子)

## ごみリサイクルの 実態調査

社会文教常任委員会

4月17日(木) 紙類の資源化について、千曲資源リサイクル事業協と、葛尾組合およびストックヤードの現地調査を行った。  
リサイクルセンターは、一般廃棄物事業者と解体系の事業者で組織し、年間5千トの紙類を取り扱い、当町分は集団回収の320トである。分別されていないものは、床に広げて手作業で行っていた。高値の良質紙は輸出され、質の悪いのが残るため、国内の紙不足が心配されるという。

葛尾組合の現施設は、すでに30年を超える。14年ダイオキシン対策の大改修を行い、維持管理に毎年約1億円要している。後継施設として、長野広域連合では千曲市に設置を進められているが、場所が決まっていない。

プラスチック類の再資源化のストックヤードは15年から操業している。ごみの減量化と資源化へ一人ひとりの取り組みの必要性を強く感じた。

(大森茂彦)



おひさまファンでソーラーパネル



回収された資源の山

# 町民参加 65名の声から

(A班)

## 鼠公民館

**問** A 09号線の工事がH12年に始まったが、いまだに完成しない。当初は、3年で完成すると聞いていたが完成はいつか。

**答** 全長794m、幅9・25m、片側2・5mの歩道のある道路。町の説明では総工費は3億6千320万円で、H10年から19年で3億円。20年度で6千320万円を計上している。今年度完成予定である。

**問** 県道の迂回仮設道路に3億円もかけて建設するのだから、そのまま残してほしい。

**答** 国土交通省では、あくまでも仮設なので撤去するという。河川法の関係もあり難しいが、高速交通網対策特別委員会を中心に議会としてもそのように働きかけていく。

## 金井振興センター

**問** 下水道事業が大変遅れている。早くしてほしい。

**答** 町は、あと何年かかるかは明確にいついていない。予算が約200億円。幹線工事に約40億円。残りに160億円が下水道整備に充てられる。このうち半分の80億円が使われて整備された。1年に約8億円の事業費であるが、その内4億円は下水道関係の借金返済に充てられ、4億円で対応していくとすれば、約20年間かかることになる。

**問** テクノ坂城駅の昇降機は利用されているのか。エレベーターの設置はできないのか。

**答** 要望としてお聞きし町に伝える。

## 泉区集会場

**問** 高齢者対策も重要だが子どもの医療費無料化の年齢拡大ができないのか。

**答** 県が乳幼児医療費無料化の年齢を3歳から6歳に引き上げた。町への要望としてお聞きしておく。

**問** 坂城町は市町村合併をせず、自律を選んだが、これは民意を反映したのか。

住民投票を実施してはどうか。

**答** 今、町内に合併を希望する動きは見られない。陳情や合併推進のための組織活動もないようだ。特に住民投票を実施する時は、意見が大きく二分している場合や制度を大きく変える時など、住民の意向を確認するために行うのであって、今の時点では必要ないと考えられている。

(B班)

## コミュニティセンター

**問** オリンパス跡地は、学園でなく土地が必要な会社のための工業団地とならないか。

**答** 7月ころ結論が出る見込みである。

**問** 議員定数を18人から14人に減らした根拠は。

**答** 議会改革のひとつである。

**問** 込山区の通学路が狭い。坂城駅への侵入道路の整備より、通学路の拡幅の方が先にすべきだ。また、町単補助工事の予

算が少ない。これについて取り上げた議員はいるのか。

**答** 議員は町内を調査し、議会において、中小の道路路改修などについて何度も取り上げ町に問い質している。

## 網掛公民館

**問** 救急医療体制の現状は。

**答** 長野病院も医療体制が大変と聞く。篠ノ井病院も救急の搬入者が増え、地域の応援による救急センターという形ができないと対応が困難になると悲鳴を上げている。これからも議会として取り組んでいきたい。

**問** 救急の搬入先として佐久病院まで広がらないのか。

**答** エリアもだが、遠距離では救急にならない。

**問** 網掛地区の下水道の供用開始はいつになるのか。

**答** はっきりしない。今年度は月見区の継続工事と福沢川の下を潜る工事が進む。

**問** 国道バイパスの鼠橋以北の取り組みと見通しは。

**答** 鼠橋北400mほど延長される。その先について



和合城跡の手入れをするボランティア

は、今のところ予定がない。議会としても何度も陳情活動をして働きかけしている。

### JA村上支所

**問** 議員報酬は、暫定措置の見直しと称して実質は値上げをしている。議会改革といいながら世相に反する考えに納得いかない。根拠をきちんと示すべきと考えるが。

**答** 景気の低迷時から2%

の削減を継続してきたが、条例のとおりにもどした。議員報酬が適正であるかどうかを第3者機関である報酬審議会で審議していただくこととした。

**問** 少子高齢化が全国的な課題である。現状把握や対策について議会の取り組みは甘い。もっと真剣に取り組んでほしい。

**答** 妊婦健診の助成を拡大するなど取り組んできた。ご意見は重く受け止め町に提言していく。

**問** びんぐしの加工センターは、当初の設立目的と変わってきているように思える。食育・給食センターも同じことが危惧されるが。

**答** 町民の意思の反映に努めていく。

### (C班)

### 中之条公民館

**問** 葛尾組合に替わる新焼却場は、H21年の予定が26年に延びた。26年についても非常に疑心暗鬼だ。だれが最終責任を取るのか。町はもっと強行に進めるべき

だが。

**答** 長野広域の焼却場建設スケジュールでは、A焼却施設を長野市、最終処分場を須坂市、B焼却施設を千曲市とある。しかし、26年稼働は難しく、間に合いうるにない。やっと、A施設の環境アセスメントが始まったばかりである。早期実現に向けて、議会として町長に申し入れる。

**問** 貞明保育園だった土地は、地元の人たちがこれからの子どもたちのためにと安価で町に提供した。それが、個人に売却されては何にもならないが。

**答** 何人もの議員が議会で取り上げ質問した。町はそれに対して、1/4は残し1/4は土地開発公社から売却すると答えている。

### 四ツ屋公民館

**問** 町は農業についての展望がない。議員もそれに対して核心をついた質問をしていない。休耕地についての利用はどうするのか。どんな検討をしているのか。

**答** 農業・休耕地利用については、多くの議員が質問しているが、抜本的な打開策がない。農業委員会では検討委員会を準備している。

**問** 千曲川さかきパークینگエリア活用についてはどうなっているか。

**答** 高速道路の通行量についての調査があり、それから進展がない。

**問** 役場の職員の窓口の対応や態度がよくない。なんとかならないのか。

**答** 町へ要望していく。

### 隣保館

**問** チクマ精工の跡地はどうして町が買ったのか。

**答** 荒廃がひどかった。町の中心部であり、景観や治安が良くないので、町が買うことが妥当と考えた。

**問** 町の職員にも早期希望退職があるのか。ITの時代なのだから、職員をもっと減らすべきではないのか。

**答** 早期希望退職者はいり、支援対策もある。町の行財政改革では5年で1割削減を推し進めている。

# 議会報告会をふまえ、町長に要望書を提出

町民の皆さんから出された町に対する意見・要望を10項目にまとめ、7月2日池田議長・宮島副議長が議会を代表して、中沢町長に申し入れ、回答を要請しました。

## 要望書

- 一. 葛尾組合について、長野広域連合における平成26年稼働のスケジュールが大幅に遅れております。このまま先送りされ続けることのないよう葛尾組合長として、また坂城町長として、長野広域連合、千曲市に対して、一日も早く実現するよう働きかけていただきたい。
- 二. 下水道整備事業が大変遅れています。どのような手法が良いのか早く示され、促進を図っていただきたい。
- 三. 地域医療や救急医療について、非常に不安であります。広域の地域と連携を密にし、診療体制の充実を図っていただきたい。
- 四. 町単補助工事について、各自治区からの要望が多いがなかなか実現しない。予算の増額をお願いしたい。生活基盤整備にかかわる道路や水路また、子どもたちの通学路の改修工事を優先してほしい。
- 五. 坂城町の農業を守るための展望を示し、積極的な遊休荒廃農地の活用や自給率向上等、活性化の方策を推進していただきたい。
- 六. 少子高齢社会に対応できるまちづくりに力を注いでいただきたい。
- 七. 町保有地はできるだけ有効に活用し、処分も考えていただきたい。
- 八. 企業の町として、より一層産業振興に力を入れていただきたい。企業を支援する立場で法人税割の税率を下げてほしい。
- 九. 町の施策や事業の効果、達成度など町民が納得できる評価制度を考えていただきたい。
- 十. 町職員の資質の向上、特に窓口での接遇の改善を図っていただきたい。



要望書に対して、7月10日付で中沢町長から池田議長あてに、文書で下記のとおり回答がありました。

## 回答書

- ・町議会として初めてのお取組みご苦労様でした。
- ・ご要望いただいた諸点につきましては、今後の施策展開の参考とさせていただきます。
- ・また、議員各位におかれましても、今後とも、住民皆様方のお声を町政に反映すべく、日ごろの議員活動にご努力賜らんことを願う次第です。

坂城町議会として、中国四川大地震、岩手・宮城内陸地震で被災された方に、国際交流協会および社会福祉協議会を通じ、義援金に協力しました。一日も早い復興とご健康を心からお祈りして、ご報告いたします。

# 国道バイパス・国道整備の早期実現

7月1日(火) 20年度坂城町国道バイパス、県道整備促進期成同盟会総会が開催された。長野国道事務所副所長と課長、千曲建設事務所の課長等が出席し、19年度事業報告と決算、20年度事業計画・予算、促進決議案が全員の賛成で採択された。

決議内容は、上田・坂城バイパスの早期完成、鼠橋

く力石バイパスと坂城インター先線の早期事業化、半過トンネル工事に伴う右岸堤防仮設道路の存続、県道上室賀坂城停車場線(上五明・田町)の拡幅改良である。鼠橋以北の事業化の計画がなく、出席者より強い要望が出された。

上田・坂城バイパス供用になる前の事業化決定を切望する。(山城賢一)

## 平林よし子係長

### 会計室へ異動

#### 後任は金丸恵子主査

平林よし子係長が4月1日付けで会計室会計専門幹として異動になりました。

平林係長には6年にわたって議会運営、議会報編集など広範にわたって私ども議会活動のため、ご苦労をいただきました。

後任として、建設課から金丸恵子主査が着任いたしました。今後ともよろしくお願いたします。



決議文を読み上げる鈴木副会長

## 議員研修会に参加して

7月10日(木) 県議会主催の「第4回長野県地方自治政策課題研修会」が県庁で開かれ、本議会から13名の議員が出席した。

内容は、東大名誉教授大森彌氏の『議会改革と議会基本条例』および(株)フェーズワン代表取締役社長福山智子氏の『地域医療を元気にしたい』の講演であった。

特に大森氏の講演では、行政と議会の関係は、首長も議員も選挙で選ばれ、二元代表制といわれるもの、日本は明治以来行政に偏っている。18年に地方自治法が一部改正されたが、ねむ

りこんでいる議会が大部分で危機状態だ。

議員の力をもっと向上させ、政策立案や条例制定能力を身につける必要があるとの厳しい内容であった。

議員提案の条例や議案の提出など、まだまだハードルの高い分野には取り組みに至らない。

議員報酬・定数・政務調査費等、多くの課題もあり説明責任も大きい。

議員として、研鑽の場を増やし、役割を果たせるよう力をつけていきたい。

(安島 ふみ子)

## 6月定例会

## 陳情審査結果一覧

件名	陳情者	付託委員会	審査結果
「坂城町運動公園」および「ねずみ橋運動公園」の簡易トイレの設置に関することについて	坂城町少年硬式野球連盟会長 坂城サッカースポーツ少年団代表 坂城町マレットゴルフ協会会長	竹内次雄 高井資昌 中島澄雄 社会文教 常任委員会	採 択

# 子どもたちの メッセージ



南条小 6年1組  
みずの いちろう  
水野 一宇

南条小学校の伝統の一つに菊作りがあります。毎年、六年生が大きな菊を育て音楽会にかざります。音楽会に、菊をかざると、ステージで歌っているとき練習より大きな声で歌えます。違うクラスの歌を聞いた見たりしていると、菊のおかげ



南条小 6年2組  
むらやま りな  
村山 璃那

私達、南条小学校は、毎年六年生が菊の花を、一人一鉢ずつ育ててきました。秋になるときれいで大きな菊の花がたくさん咲いて音楽会のステージや、ろう下にかざられます。

先日、菊作りの先生方が南条小学校に来て菊の作り方を

教えてくれました。

私は花が咲いた菊しか見たことがありませんでした。小さな芽をみた時はすごい小さな小さい芽があんなに大きな菊になるとは思ってもいませんでした。菊を作るには土を入れればできると思っていだけれど土や肥料などをだいたい分量で入れなくてはいけないと分かりました。小さな芽がだんだんと大きくなっていくのが楽しみです。しっかりと水をあげて成長していくところも見たいと思います。

でよりきれいな音になってきます。

今年、ぼく達が菊を作る番です。今までの六年生は、とても大きくきれいな菊を育てていたので、ぼく達もきれいな菊の花を育て、音楽を盛り上げたいです。

菊作りの一番初めの作業は苗植えです。大変だったけどできた時は、とてもうれしかったです。町の菊作りの人が教えてくれたり、菊の世話も手伝って下さっています。町の菊作りの人達への感謝も忘れないで育てたいです。

## 小路



▼7月7日より3日間、洞爺湖サミットが開かれた。

最大の議題は「地球温暖化問題」であり、CO<sub>2</sub>がどの位削減できるか問われた。

福田総理から、議長総括文書が発表された。

『主要国（G8）は2050年までに温室効果ガスを半減させる長期目標に関し自らの指導的役割を認識し野心的な中期の国別総量目標を実施』

▼日本で3000円で売られている同じ銘柄のタバコがアメリカやイギリスでは、千円で売られている。日本も千円にすれば、9兆5千億円の税金が入る。喫煙者が1/3になっても3兆円は入るようだ。タスポもふくめて、煙に巻かれるような最近の紫煙談である。

▼「クールビズ浸透する」

そこで一句  
『見なれば チョイ悪親父か クールビズ』

（中嶋 登）